

授業概要

人間文化学科の学生がどの領域においても必要とするリベラル・アーツの基本的な分野を平易な英語で理解することによって、それぞれの専攻する分野で必要となる、さらに高いレベルの英語に進むための基本を養成する。英文の読解、リスニング、会話の学習を通して基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (1) ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第 3 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (2) リーディング
第 4 回	Unit 1 文字と言葉について英語で学ぶ (3) リスニング・オーラルプラクティス
第 5 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (1) ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第 6 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (2) リーディング
第 7 回	Unit 3 英語の詩を読んでみよう (3) リスニング・オーラルプラクティス
第 8 回	まとめと復習
第 9 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (1) ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第 10 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (2) リーディング
第 11 回	Unit 4 英語の物語を読んでみよう (3) リスニング・オーラルプラクティス
第 12 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (1) ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第 13 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (2) リーディング
第 14 回	Unit 5 音楽について英語で学ぶ (3) リスニング・オーラルプラクティス
第 15 回	まとめと復習
第 16 回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

到達目標

人間文化学科のどの領域においても必要となる英語の総合的な基礎的学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。

語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

定期試験 70% 受講態度 30%

テキスト

- ・教科書名：『英語で学ぶリベラル・アーツ』
- ・著者名：上村淳子、アイリーン岩崎
- ・出版社名：朝日出版社
- ・出版年 (ISBN)：2015 年 (978-4-255-15562-3)

授業概要

キャンパスライフで使う英語の語彙と表現を学習することによって、英語力の向上を目指す。自己紹介、クラブ活動、学食、アルバイトなど、学生の日常生活を舞台にした会話、文章の読解、その理解を促す文法を学ぶことによって、英語の総合的な運用能力を高める。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1 スモールトーク：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 3 回	Unit 1 スモールトーク：グラマー・リーディング
第 4 回	Unit 2 クラブ活動：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 5 回	Unit 2 クラブ活動：グラマー・リーディング
第 6 回	Unit 3 専攻：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 7 回	Unit 3 専攻：グラマー・リーディング
第 8 回	Unit 4 日本事情・休日：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 9 回	Unit 4 日本事情・休日：グラマー・リーディング
第 10 回	Unit 5 アルバイト：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 11 回	Unit 5 アルバイト：グラマー・リーディング
第 12 回	Unit 6 学生食堂：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 13 回	Unit 6 学生食堂：グラマー・リーディング
第 14 回	Unit 7 パーティ企画：ウォームアップ・オーラルプラクティス
第 15 回	Unit 7 パーティ企画：グラマー・リーディング
第 16 回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

到達目標

キャンパスライフで使う英語を学習することによって、英語の総合的な基礎的学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。

語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し音声を聴き、発音して復習すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

定期試験 70% 受講態度 30%

テキスト

- ・教科書名：『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus 音読で学ぶ基礎英語（キャンパス編）』
- ・著者名：角山照彦、Simon Capper
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-7919-7182-4）

授業概要

4技能をバランスよく学習し、個人、ペア、グループ活動を通して英語の実用的なコミュニケーション能力の増強を目指す。日常生活での英会話、アカデミックライティング、プレゼンテーション、スピーチの仕方を習得し、更には教育現場で必要な英語力、指導法を身につけるためのワークショップを実施する。

授業計画

第1回	オリエンテーション、アイスブレイキング、自己紹介①
第2回	自己紹介②
第3回	職業、日常生活について学ぶ①
第4回	職業、日常生活について学ぶ②
第5回	自分の好み、お買い物の仕方
第6回	エンターテインメントについて話す
第7回	指導法ワークショップ①
第8回	プレゼンテーション
第9回	家族について話す
第10回	スポーツ、趣味、習慣について話す①
第11回	スポーツ、趣味、習慣について書く②
第12回	過去について話す、書く
第13回	指導法ワークショップ②
第14回	説得力を上げるスピーチを学ぶ
第15回	プレゼンテーション
第16回	期末筆記試験

到達目標

1. 世界で活躍するための英語表現を身につけ、自分の考えや意見を英語で発信し、英語でコミュニケーションをとることができる。
2. 教育現場において必要な英語力を身につけ、指導できるようにする。

履修上の注意

毎授業小テストを実施する。

予習・復習

テキストの新出単語を予習すること。毎回ライティングの課題を出します。

評価方法

小テスト 15%、授業態度 15%、課題 25%、プレゼンテーション 20%、期末テスト 25%

テキスト

- 教科書名：Interchange Level 1 Fifth edition
- 著者名：Jack C. Richards
- 出版社名：Cambridge University Press
- 出版年 (ISBN)：2017 (ISBN: 9781316620311)

授業概要

大学生が商社に履歴書を送り、面接を受けるまでの成長の過程において、ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。受講生が就職活動をするとき、さらには入社してから必須となる英語の知識を身につけられるようにする。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1: 英語で履歴書を書いてみよう (1) ポキャブラリービルディング・リスニング
第 3 回	Unit 1: 英語で履歴書を書いてみよう (2) オーラルプラクティス・ライティング
第 4 回	Unit 1: 英語で履歴書を書いてみよう (3) 確認と復習
第 5 回	Unit 2: 英語で応募書類を書いてみよう (1) ポキャブラリービルディング・リスニング
第 6 回	Unit 2: 英語で応募書類を書いてみよう (2) オーラルプラクティス・ライティング
第 7 回	Unit 2: 英語で応募書類を書いてみよう (3) 確認と復習
第 8 回	これまでのまとめと復習
第 9 回	Unit 3: 英語での面接に備えよう (1) ポキャブラリービルディング・リスニング
第 10 回	Unit 3: 英語での面接に備えよう (2) オーラルプラクティス・ライティング
第 11 回	Unit 3: 英語での面接に備えよう (3) 確認と復習
第 12 回	Unit 4: 英語で面接を受ける (1) ポキャブラリービルディング・リスニング
第 13 回	Unit 4: 英語で面接を受ける (2) オーラルプラクティス・ライティング
第 14 回	Unit 4: 英語で面接を受ける (3) 確認と復習
第 15 回	これまでのまとめと復習
第 16 回	筆記試験

授業内容、進度については、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

到達目標

ビジネスのさまざまな場面で用いられる英語の語彙と表現を習得することによって、英語の総合的な基礎的学力を身につけることができる。

履修上の注意

授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参し、授業に積極的に参加すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

次の回に学ぶテキストの箇所を読んで、知らない語彙、表現を必ず辞書で調べておくこと。
語学力の養成には繰り返しが必要である。授業後には、授業中にとったノートとテキストを繰り返し書き、読み、繰り返し発音して復習すること。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。評価方法は、担当教員によって、あるいは遠隔授業時に若干変更されることがある。

定期試験 70% 受講態度 30%

テキスト

- ・教科書名：『*Business Talk* やさしいオフィス英語』
- ・著者名：城由紀子、島田拓司、Edward J. Schaefer
- ・出版社名：成美堂
- ・出版年 (ISBN)：1997年 (978-4-7919-4711-9)